

授業科目名・形態	看護倫理	講義	必修・選択の別	必修	
担当者氏名	五十嵐靖彦	開講期	2年後期	単位数	1

【授業の主題】

専門職としての看護業務を、適切かつ有効に遂行するための規範となる心構えや行動原理について、倫理的視点から考察します。

【到達目標】

- 1) 看護とは人間関係一般の中でも、特殊・微妙な職域であることを理解すること。
- 2) その業務を全うする上では、特に倫理的配慮が大切であることを理解すること。
- 3) その倫理的配慮の中では、なによりも生命の尊厳、人権の尊重という価値観を深く身に付けること。

【授業計画・内容】

- 第1回 倫理とは（倫理の語義とそれを研究する倫理学についての説明）
- 第2回 倫理一般と領域倫理（社会人として心得るべき一般倫理と職域毎の特殊化される倫理について）
- 第3回 医の倫理について（医療に関連した職域分野の種々の倫理綱領について）
- 第4回 看護倫理の概念と歴史（ナイチンゲールから現代までの看護倫理の歩み）
- 第5回 看護倫理関連のキーワードの解説（人間の尊厳、インフォームド・コンセント、アドボカシー等々）
- 第6回 同上 続講
- 第7回 看護研究における倫理的配慮（研究倫理を審査する倫理委員会について）
- 第8回 事例研究（こういう場合、どう判断し、どう行動すればよいか）

【授業実施方法】

基本的に講義形式ですが、随時資料を読んでもらったり、質問に答えてもらったりします。

【授業準備】

毎回授業の終わりに、次回の授業に関連したテーマや文献について当たっておくようにと指示しますので、それを守ってください。

【主な関連する科目】

看護学概論

【教科書等】

教科書は使用しません。毎回資料を配付します。

【参考文献】

- 石井トク編『看護倫理』学研プラス 2014
- 小西恵美子他編『看護倫理』南江堂 2012
- 島崎玲子他編『看護学概論』医歯薬出版 2012
- 盛永審一郎他編『看護学生のための医療倫理』丸善出版 2012

【成績評価方法】

平常点（出席状況・ミニテスト20%）と期末テスト（80%）の合算。

【学生へのメッセージ】

配付される資料はかなりな量になるはずですので、散失しないよう整理し保存してください。